

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」小幡校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		明るく集中できるスペースを確保しています。	活動種類の工夫を行いながら集中できるような環境を整えます。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令遵守した人員を配置しています。	働きやすい職場を心がけています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差はありません。エレベーターも使用可能です。物や壁飾りを最小限にして集中できる環境にしています。	不都合があれば対応していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		常に清掃、換気、消毒を行っています。	引き続き感染対策を継続していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職場会議にて、随時話し合い目標に向け早急に対応することを心がけています。	引き続き問題意識を持って取り組みます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一回実施、改善につなげています。	評価以外にも、課題があれば迅速に対応していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年に一回ホームページと事業所にて公開しています	全員の方に閲覧できるように SNS 等を使用し周知します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	内部監査を実施しています。	不十分な場合は指導を受け改善しています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月 1 回以上の定例研修 新人研修など自主的に行っています。	職員同士でも学習機会を作り、自己研鑽を積んでいきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		社内アセスメントで課題を絞り、支援会議を実施。課題設定を行って計画を作成しています。	保護者様からも聞き取りを行い、ニーズと評価を適切に見極めながら行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NC プログラムなど社内用アセスメントを使用しています。	保護者様と一緒に、NC プログラムを共有し、課題を確認し合っていきます。

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様からの聞き取りや、支援会議にてニーズを把握し具体的な支援内容を設定しています。	適切なねらいと目標設定を行い職員間で支援内容を共有していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿った支援を実施しています。	目標や支援内容の見直しが必要な場合は、その都度変更をしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い、助言をし合っています。	ねらいを定めた活動プログラムを使用し、どの職員も目的に沿った支援ができるようにしていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員間で相談しながら進めています。	引き続き職員間で話し合い、目的に沿い且つ楽しめるように工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		小集団が必要な場合は、ねらいを考え計画に組み込んでいます。	集団課題に合わせた支援計画を作成していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前にミーティングを行っています。	引き続きミーティングを行い、確認して業務を行っていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		緊急の場合を除き、翌日のミーティングで話し合っています。	どの職員にも情報の漏れがないように、PCシステムで記録に残しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		PCシステムで記録を実施し、他の職員とも共有し多角的な視点が持てるようにしています。	引き続き支援の検証・改善につなげられるような支援記録の作成を心がけていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者様と面談にて聞き取りを行い、見直しをしています。	引き続き職員、保護者、児童の認識をすり合わせて計画書に反映させていきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当の指導員と管理者が対応し、定期的に情報交換ができるようにしています。	引き続き担当職員が出席できるように努めていきます。またこちらからの開催提案も行います
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		親子、関係機関の要望に応じて、連携、ご相談など対応しています。	引き続き要望に応じて、連携していきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			現在該当者はいませんが、必要時は対応していきます。

	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在該当者はいませんが、必要時は対応していきます。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	園の訪問もしています。	必要時は連携していきます。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	学校の訪問もしています。	必要時は連携していきます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		守山区福祉協議会や守山区児童部会の研修に参加しています。	積極的に参加していきます。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	特に機会はありません。	ニーズがあれば交流できる機会を検討します。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		守山区児童部会に加入し、イベント等に参加しています。	積極的に参加していきます。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援のあとは、保護者様と振り返りを行い、課題を共有します。	引き続き保護者様と一緒に、NCプログラムを共有し、課題を確認し合っています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		個別支援計画書に盛り込み、個別に対応できるようにしています。	必要な方希望される方にお声かけしています。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に書面にてご説明させていただきます。	丁寧にご案内できるよう努めていきます。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画に同意をいただき、支援を行っています。	丁寧にご案内できるよう努めていきます。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援後にお話を傾聴したり、事業内相談会を実施しています。	継続して相談しやすい雰囲気作りに努めていきます。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご要望がある場合は検討していきます
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		事業所内相談会の定期的なご案内、個別LINEでも対応しています。	相談しやすい雰囲気作りに努めていきます。

	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログなどの SNS や掲示板でご紹介しています。	全員の方に目に留まるよう工夫していきます。
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫に保管。会話にも注意しています。	職員間で問題意識を持って対応していきます。
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別 LINE にて配慮しています。	利用者様に合わせたコミュニケーションツールを提案していきます。
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	積極的には行っておりません。	SNS など事業所運営についてご紹介しています。
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを用意しています。児童にも支援内で学習機会として実施しています。	随時閲覧できる工夫を行い、引き続き訓練にて親子の参加を呼びかけます。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画のもと月 1 回実施しています。親子参加も呼びかけています。	周知できるよう引き続き掲示板や SNS で広報を強化していきます。
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時や新年度など必要時に確認しています。	継続して行います。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	契約時や必要時に確認しています。	イベント時おやつ提供のときも再確認していきます。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日頃から職員に意識をもってもらい迅速に報告するよう心掛けています。	ヒヤリハットの認識を広げていきます。事故を未然に防ぎます。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年 1 回以上の研修を実施しています。	虐待防止委員会を設置事例を共有していきます。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		保護者様の相談、了解を得ながら必要書類にて説明しております。計画書にも示しています。	安心安全に支援を遂行できるように、具体的な例に沿って、職員と共有していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」小幡 校

保護者等数（児童数）：18人 回収数：18人 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4				活動の工夫を行い集中できる環境を整えます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16			2		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18					
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	1	1	1	計画作成するときにしっかり面談を設けてほしい。	ご意見ありがとうございます。聞き取りをしっかりと行うための時間を設けます
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	2		2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18				子供のやりとりを大切にしてお関わってくださいます。	ご意見ありがとうございます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	2	1			研修で知見を広め、職員間で話し合い、課題に沿った様々な活動を考えていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	5	2		ニーズがある場合はご相談を受け連携することも可能です。
保護 者へ の説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17			1		

明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6	3	4	5		希望や必要がある場合ペアレントトレーニングを行っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	2				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	5		1		6か月ごとのモニタリング面談や個別相談会も随時受付けています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	7	4		保護者交流会について年齢層に分けて開催することも検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	2	1	3		SNS等で発信しています。多くの方に見ていただけるよう工夫していきます
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	1				
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1		3	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2		3		避難訓練は月1回行っています。親子の参加もお願いしております。広報活動を工夫致します。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1			毎回楽しそうに通ってくれます。	ご意見ありがとうございます。日頃より、ご利用感謝申し上げます。子供たちに笑顔が届けられるよう努めて参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	18				きらりで折り紙やお絵描きしたことを家でもやりたいと伝えてくれ活動がひろがっています。	ご意見ありがとうございます。より一層、皆さまに喜んで頂けるよう、引き続き精進して参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。